



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）12月5日号 No. 1580

## 目次

■ 2012年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入	1
— 輸出入の頭打ちがより鮮明に —	
■ 統計速報	8
2012年1～10月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績 / 8	
2012年1～10月の日ロ貿易 / 9	
■ トピックス	10
KYB、ロシアに販売会社を設立 / 10	
三菱化学がロシア企業に植物工場販売 / 11	
エカテリンブルグが2020年の万博開催に名乗り / 11	

## 2012年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入 — 輸出入の頭打ちがより鮮明に —

### はじめに

2012年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入の統計データが出揃ったので、今回の速報では恒例によりこれらのデータを図表にまとめてお届けすることにする。

ロシア中央銀行の国際収支統計によると、2012年1～9月のロシアの商品輸出総額は3,904億ドル（前年同期比3.5%増）、輸入総額は2,404億ドル（同3.0%増）で、収支は1,713億ドルの黒字であった。国際収支ベースの過去数年の輸出入額を、月別に跡付けたのが図表1である。ロシアの貿易は、リーマン・ショックによる落ち込みから回復し、目覚ましい拡大を続けてきたが、2012年に入ってから輸出とも輸入とも頭打ちの傾向が生じ、月を追うに連れてそれが鮮明になってきている。4月、6月、7月、8月の輸出、4月、5月、6月、8月、9月の輸入は、前年の水準を下回っている。

一方、ロシア連邦関税局の通関統計によれば、2012年1～9月のロシアの商品輸出総額は3,857億ドル（前年同期比3.2%増）、輸入総額は2,258億ドル（同2.0%増）で、収支は1,599億ドルの黒字であった。

その際に、これまで当会の月報や本速報で再三指摘してきたとおり、ロシアの通関統計には関税同盟に起因するデータの欠落の問題があった。すなわち、ロシアの通関統計には